

第22期 | 株 主 通 信

2021年4月1日 > 2022年3月31日



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第22期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）における営業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

また、エアンドエーマテリアルグループのCSRについてもご紹介申し上げます。

代表取締役社長

巻野 徹



アデッキ木目  
53F  
メープル

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大が続く中、ワクチン接種等の感染対策により経済活動の持ち直しが期待されましたが、新たな変異株により感染が再拡大する等、未だ収束は見通せず景気の停滞が懸念されております。また、ウクライナ情勢を巡る地政学的リスク、原材料価格の高騰等の影響により依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主な事業領域である建設・建材業界では、工事の延期や中断、新規着工の遅れによる工期のずれ込み等の影響を受け、需要は低調に推移いたしました。

工業製品・エンジニアリング事業領域では、民間設備投資の減少により、市況の鈍化が続いております。

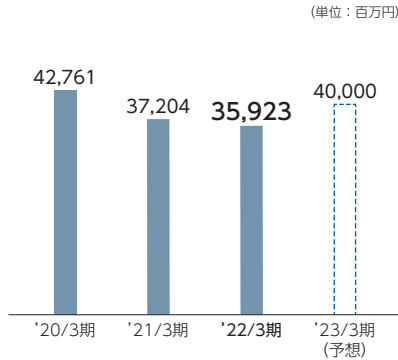
このような環境の下、当社グループは「2023中期経営計画（2021年度～2023年度）」の初年度である当連結会計年度の売上高は35,923百万円（前期比3.4%減収）、営業利益1,440百万円（前期比2.1%減益）、経常利益1,563百万円（前期比1.0%減益）、親会社株主に帰属する当期純利益958百万円（前期比31.7%増益）となりました。最終年度となる2023年度には売上高43,000百万円、営業利益3,000百万円の達成を目指しております。

営業の概況は以上のとおりでございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

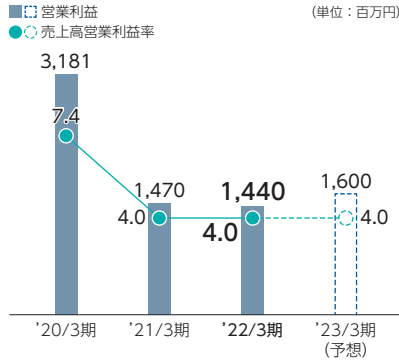


# 連結財務ハイライト／来期の見通し

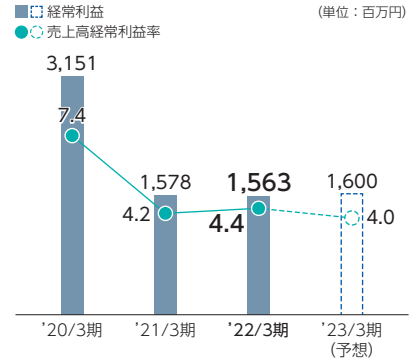
## 売上高



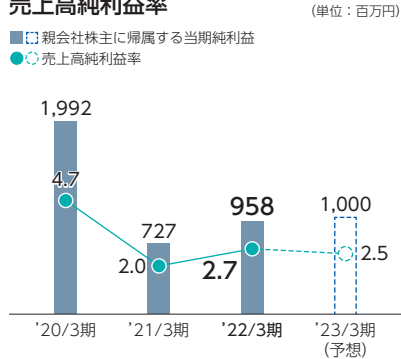
## 営業利益／売上高営業利益率



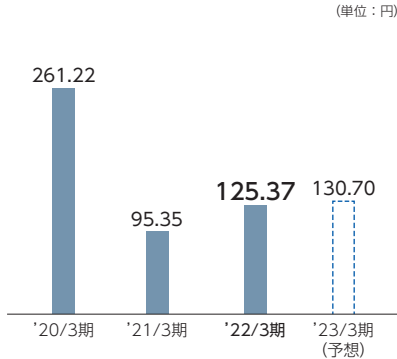
## 経常利益／売上高経常利益率



## 親会社株主に帰属する当期純利益 売上高純利益率



## 1株当たり当期純利益



## 来期の見通し

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	2023年3月期 配当予想
2023年3月期 連結業績予想	400億円 ( '22/3期比11.3%増 )	16億円 ( '22/3期比11.1%増 )	16億円 ( '22/3期比2.4%増 )	10億円 ( '22/3期比4.3%増 )	1株につき 45円



# 事業概況

## 建設・建材事業部門



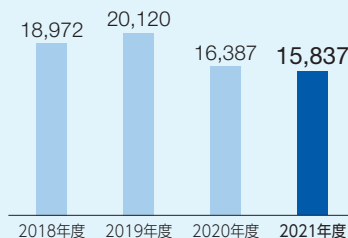
外部天井 ハイラックフネン



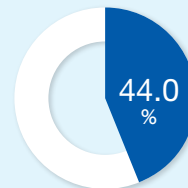
内壁 アデック木目

売上高 **15,837** 百万円 (前期比 **3.4%**減)

売上高 (百万円)



売上高構成比



## 工業製品・ エンジニアリング事業部門



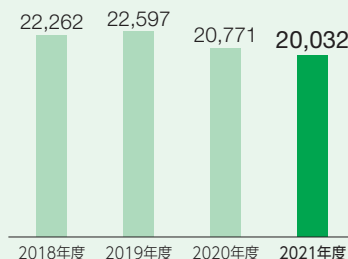
マイクロポーラス施工例

マイクロポーラス系 高性能断熱材

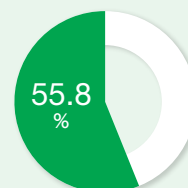


売上高 **20,032** 百万円 (前期比 **3.6%**減)

売上高 (百万円)



売上高構成比



## その他

売上高 **54** 百万円 (前期比 **18.6%**増)

## 材料販売

主力商品であるけい酸カルシウム板「ハイラックフネン」及び曲面施工が可能なオリジナル商品「エフジーボード」は、民間設備投資が低調に推移し、国内出荷は減少いたしました。台湾向けのけい酸カルシウム板は前期の市況低迷の反動もあり、建設需要が回復し、国内出荷の減少を補いました。高付加価値商品である内装不燃化粧板は、工事の延期や新規工事物件が減少する中でも、施工現場での施工時間を短縮し廃棄物低減となる、テープのみで内壁だけでなく天井施工も可能となった「スタンドSpeed工法」が施工現場に普及し、堅調に推移いたしました。耐火二層管については、需要の減少や製造原価の上昇を受け、2022年3月をもって耐火二層管事業から撤退することとなりました。

材料販売全体の売上高は減収となりました。

## 工事

第3四半期以降、着工が遅れていた大型再開発物件の一部が始動する等、回復の兆しが見られましたが、首都圏の大型再開発物件をはじめ全国的な大型工事物件においては工期遅延が続き、工事販売全体の売上高は減収となりました。工程管理や原価管理を徹底し収益改善を図ると共に、昨年度に上市した完全無機質のリサイクル資源エコ材料を活用したロックウール系不燃断熱材「フェザーロックNeo」の拡販による販売網の強化に努めております。

## 材料販売

船舶関連では、国内各造船所の新規建造隻数の落ち込みにより防熱材の出荷が減少いたしました。鉄鋼・非鉄関連は、海外においてアルミ溶融設備向け断熱材「レセパルHS」の販売が伸長いたしました。プラント関連では、非金属製伸縮継手「APコネクター」が電力会社向けのメンテナンス工事や新規工事物件で受注が増加し出荷は順調に推移いたしました。保温・築炉・環境・エネルギー関連は、新規拡販による各種断熱工事向け高性能断熱材やごみ焼却処理施設向け「APコネクター」の出荷が増加いたしました。また、自動車関連は、車載用半導体部品の供給不足による影響がありましたが、コロナ禍により生産調整していた製品の反動需要が高まり、国内外で出荷が増加し、材料販売全体の売上高は増収となりました。

## 工事

プラント向けメンテナンス工事は工期のずれ込みによる影響を受け、工事販売全体の売上高は減収となりましたが、大型物流施設断熱外壁パネル工事や大型船舶防熱工事を受注する等、受注環境は回復基調にあります。



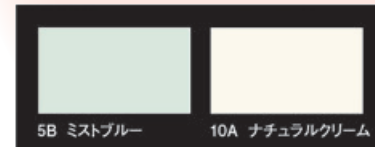
# 新商品案内

## 【スタンド#400のカラーバリエーションの充実化】

ご愛顧いただいております化粧板「スタンドシリーズ」  
このたびスタンド#400を中心に標準色8色に加え、準標準色2色を追加して、在庫色カラーバリエーションの充実化を図りました。



標準色



準標準色

## 【次世代の散布型除菌剤】

感染症対策製品による新事業として、散布型除菌剤「ヨドックス粒」の製造販売を決定いたしました。

株式会社化研および京都産業大学と共同で「鳥インフルエンザを防疫」する散布型除菌剤ヨドックス粒の開発に取り組んできました。今後、公共機関での農場散布を皮切りに、秋以降に本格的に販売する予定としております。

ヨドックス粒は、水素イオン濃度は3～5の弱酸性であり、国内に多く見られる弱酸性土壌との相性が良く、軽石の自然な外観は散布後も景観を損なわず、公園や動物園など幅広い範囲の提案を考えております。



ヨドックス粒



## サステナビリティ推進委員会の設置について

株式会社エーアンドエーマテリアルは、2021年12月にサステナビリティ推進委員会を設置しました。

当社グループでは発足20周年を機に刷新した経営理念のもと、中長期CSRビジョン（CSR2030）および2023中期経営計画を策定し、持続可能な社会の実現と持続的な企業の成長の両立を目指す取り組みを進めております。

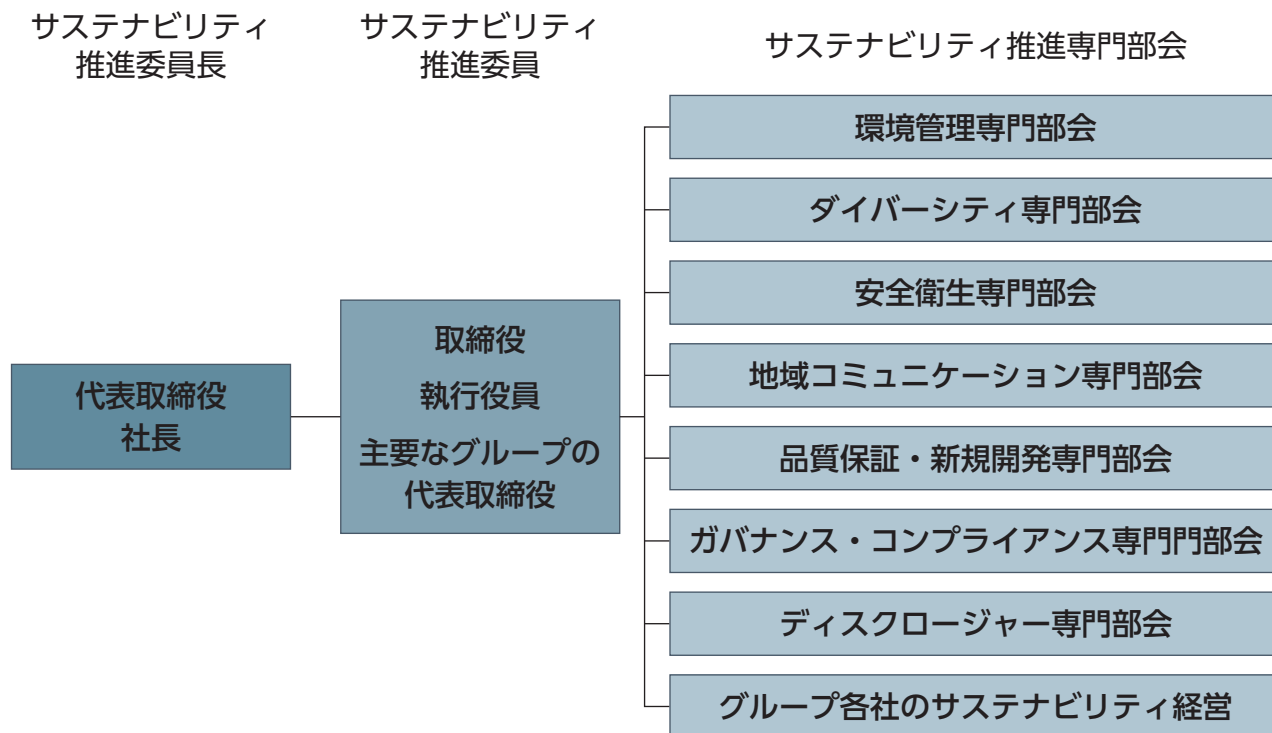
企業を取り巻く環境は大きく変化しており、サステナビリティが重要な経営課題であることがあらためて認識されます。今後のサステナビリティ経営推進の新たな枠組みを構築することを目的に、本委員会を設置することとしたものです。

本委員会で、サステナビリティ推進活動の方針等を策定し、順次、公表する予定です。



## サステナビリティ推進委員会の構成

サステナビリティ推進委員会は、代表取締役社長を委員長、取締役・執行役員および主なグループ会社の代表取締役をサステナビリティ推進委員とし、その下に各間接部門長が担当する専門部会を置く構成としています。

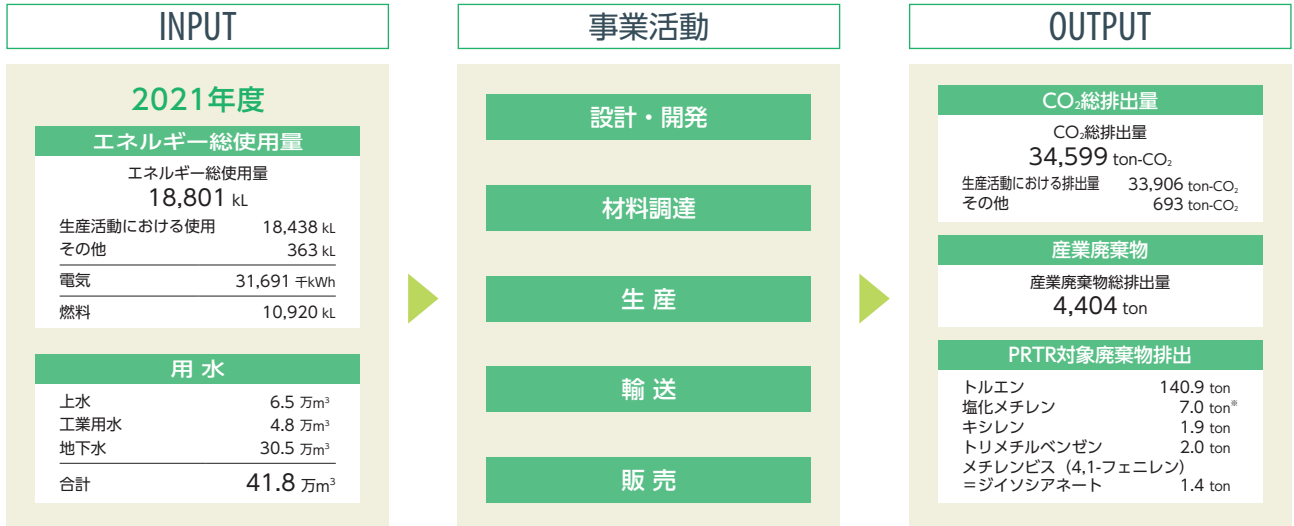




# 環境に配慮した企業であるために

温室効果ガス排出量削減や社用車の環境配慮型推進および廃棄物の管理等、環境に配慮した施策を実行しています。CSR2030はそれらの目標として具体的な数値や政策を策定しました。

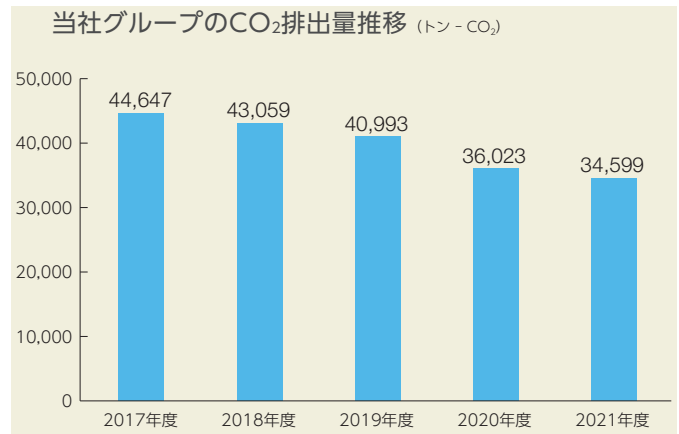
以下は、環境部門の目標に対する2021年度の主な結果です。



※ 塩化メチレン排出量7.0tonのうち4.4tonは事業場移動量

## ① 温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) 排出量推移

CSR2030ではパリ協定を背景とした目標を設定し、温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) の排出量を2030年度で2013年度比26%減を目標としています。2021年度の当社グループのスコップ1,2としての結果は2013年度比25.9%減でCO<sub>2</sub>削減目標を達成しました。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、販売数量、生産数量の伸びが少ない中での達成でした。将来は生産数量を確保した上での達成を目指します。

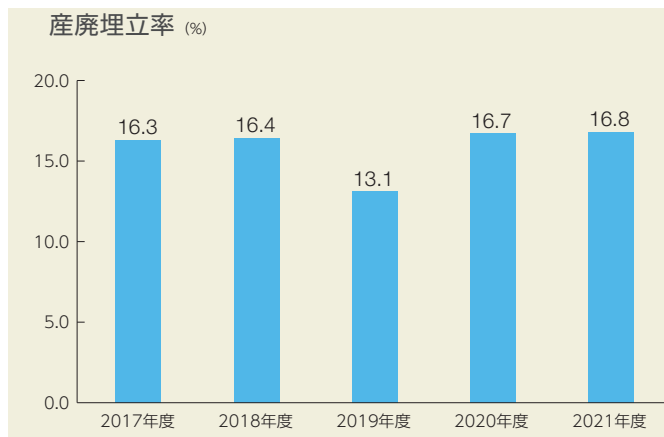




## ② 産廃埋立処分率

CSR2030では当社グループから発生する産廃の埋立処分率を、2023年度までに10%以下、2030年度までに5%以下を目標として活動しています。2021年度の結果は16.8%でした。

2022年度は準備期間として産廃の場内リサイクルや外部でのリサイクルなどを調査し、2023年度には目標達成できるよう推進いたします。



## ③ 社用車の環境配慮型推進

CSR2030では2030年度までに当社グループの社用車を環境配慮型に更新することを目標としております。当社グループの社用車は主に営業車両が多くを占めており、社用車の環境配慮型へ更新はスコープ1削減に寄与します。

2021年度末の総台数210台のうち72台（34%）が環境配慮型となりました。このうち、関東支店ではEV車を1台採用し、日々営業車として活用しています。

## ④ コピー用紙の削減

CSR2030では当社グループが購入するコピー用紙を、2023年度までに2020年度比20%減、2030年度までに60%減を目標として活動しています。2021年度の結果は2020年度比3.7%減でした。

現在、業務改善プロジェクトにおいて伝票に使用するドットプリンター用紙をA4用紙に変更する活動を実施しています。A4用紙に変更することで業務時間を短縮するだけでなく、ドットプリンター用紙の複数枚使用を減らすことができます。この活動による紙媒体の削減効果を2022年度に調査し、紙媒体総量の削減として推進します。

## ⑤ その他のCSR2030目標について

CSR2030では、上記の項目以外に「資源の適正利用」、「主要工場の排水循環システムの管理」、「法令遵守と教育の推進」、「グリーン調達の推進」、「環境配慮型製品の開発」を推進しています。今後はこれらの成果についても報告する予定です。



## ～ CSRトピックス ～

### 温室効果ガス排出削減の取り組み

#### ・(株)イーアンドエー茨城の 太陽光発電設備設置

敷地内にある約7,000㎡の雨水調整池兼グラウンドに自家消費型太陽光発電設備を設置し、発電した電力は全て自社の事業に用いることで、温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>の削減を図っています。2022年1月より稼働し、3ヵ月で84トンのCO<sub>2</sub>削減に寄与しています。



(株)イーアンドエー茨城太陽光発電全景

#### ・本社ビル使用電力の 再エネ電力メニュー利用

本社鶴見ビル全体の使用電力を2022年2月より再エネ電力100%メニューに変更しました。これにより2ヵ月で約33トンのCO<sub>2</sub>削減に寄与しました。

#### ・関東支店社用車EV化

関東支店では社用車の1台をEV車に更新し、鶴見ビルを拠点に活用しています。鶴見ビルが再エネ電力になったことにより使用時のCO<sub>2</sub>排出は0となります。



関東支店EV車



# 会社概要／株式の状況

## 1. 会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	株式会社エーアンドエーマテリアル
住所	横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号
設立	1924年3月4日(大正13年)
電話	045-503-5760(代表)
資本金	38億8千9百万円
従業員数	871名(連結) 216名(単体)
子会社	アスク・サンシンエンジニアリング株式会社 株式会社アスクテクニカ エーアンドエー工事株式会社 関東浅野パイプ株式会社 朝日珪酸工業株式会社 株式会社エーアンドエー茨城 株式会社エーアンドエー大阪

## 2. 株式の状況

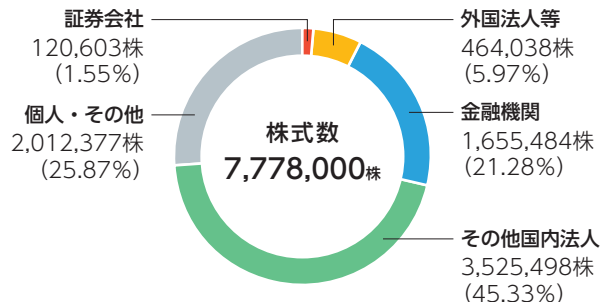
発行可能株式総数	30,000,000株 (1単元 100株)
発行済株式総数	7,758,907株 (自己株式19,093株を除く。)
株主数	5,476名

## 4. 大株主 (2022年3月31日現在)

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
太平洋セメント株式会社	32,915	42.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,358	5.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,373	4.34
明治安田生命保険相互会社	2,313	2.98
株式会社三井住友銀行	1,884	2.42
株式会社みずほ銀行	1,459	1.88
MSIP CLIENT SECURITIES	1,173	1.51
INTERACTIVE BROKERS LLC	1,159	1.49
エーアンドエーマテリアル社員持株会	1,109	1.43
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	1,076	1.38

(注) 持株比率は、自己株式19,093株を控除して計算しております。

## 5. 所有者別分布状況 (2022年3月31日現在)



## 3. 役員 (2022年6月29日現在)

### 取締役及び監査役

代表取締役社長	巻野 徹
取締役副社長執行役員	新川 篤志
取締役専務執行役員	弟子丸 茂明
取締役執行役員	太見 健志
取締役(社外)	田倉 榮美
取締役(社外)	東海 秀樹

常勤監査役(社外)	毛利 裕
常勤監査役	中村 宏之
監査役(社外)	大園 浩一

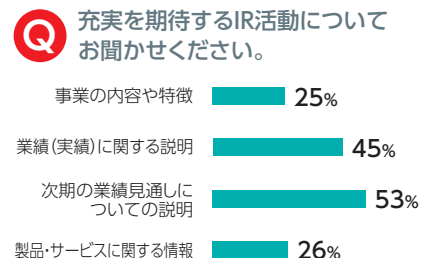
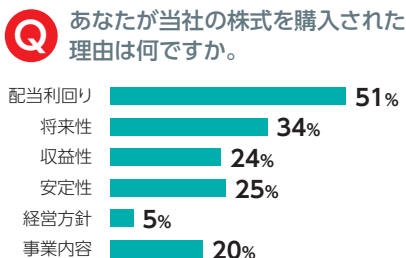
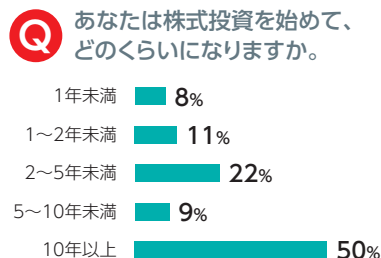
### 執行役員

執行役員工藤 誠司
執行役員大島 武人
執行役員高原 一登

## 株主様アンケート調査結果

## 株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

昨年の中間報告書の際にお願いいたしましたアンケートの集計結果(上位項目)についてご報告申し上げます。ご回答いただきました株主の皆様、ご協力ありがとうございました。当社グループは、今後も定期的に株主様アンケートを実施し、得られた調査結果を貴重なご意見として、今後の活動へ反映させてまいります。



## 株主メモ

### 事業年度

4月1日～翌年3月31日

### 剰余金の配当基準日

3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)

### 定時株主総会

毎年6月下旬

### 単元株式数

100株

### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
みずほ信託銀行株式会社

### 公告方法

電子公告 (<https://www.aa-material.co.jp>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせをお願いします。  みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ： <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせをお願いします。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。



ホームページのご案内 ▶ <https://www.aa-material.co.jp>

なおIR情報ははじめ当社の最新情報は、当社ホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。



**AAAM** 株式会社 エーアンドエー マテリアル

〒230-8511 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号  
電話 045 (503) 5760 (代表)

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

